

中学校社会科（公民的分野） 学習指導案

授業者：神戸山手女子中学校 教諭 大屋 梓沙
場 所：343教室

1. 日 時： 2021年11月27日（土） 第4校時 11：45～12：35

2. 対 象： 中学3年1組 16名

3. 科目名： 公民的分野

4. 単元名： 第5章 地球社会と私たち 2節：様々な国際問題 3. 貧困問題

5. 授業観について

○生徒観

2コースが1つのクラスのなかに混在しており、内訳は特進コースの生徒が10名、進学コースの生徒が6名である。授業に前向きに取り組む生徒も多く、進学コースの生徒も積極的に発言ができる。

時おり、解答に自信がないときは反応が薄くなることもあるが、必要に応じて助言を与えることにより、考えをまとめることができる。

○教材観

生徒たちは第1・第2学年で地理・歴史、第3学年で歴史・公民を学ぶ予定である。夏休み中のスタディデイズ（勉強合宿）にて、デキタスを利用した復習に取り組んだ。3学期に行われる実力考査（併設高校への入試にかわる試験）に向けて、3つの分野の知識の復習・定着を目指す。また、立体的に地理的情報が見られる「ほぼ日のアースボール」を使い、iPad アプリでコーヒーの生産地・消費地やその特徴を読み取り、新たに得た知識をロイロノートでまとめ、共有する。

○指導観

第1学年で学んだ内容は、長期休暇で復習しても忘れる生徒が多く、基本的な地理の知識を持つ生徒も、公民での抽象的な概念になると苦手とする生徒も多い。そこで、導入としてデキタスを使い、地理の復習をすることでクラス全員を同じスタートラインに立たせたい。デキタスは、自分がミスした問題を集めて「キミ問」が自動的に作成され、何度も取り組むことができる。その結果、低学力層の生徒でも自分の弱点克服に向けて、スモールステップで正答率を上げていき、学力向上を実感できる教材である。また、生徒たちの身近にある例として、アフリカのモノカルチャー経済を支えた「コーヒー」をテーマに、世界の貧困を多面的多角的にとらえ、その解消に向けて自分たちにできることを考えられるようにしたい。

6. 指導計画

第5章 地球社会と私たち 2節：様々な国際問題

- (1) 地球環境問題…1時間
- (2) 資源・エネルギー問題…1時間
- (3) 貧困問題…1時間（本時）
- (4) 新しい戦争…1時間
- (5) 難民問題…1時間

7. 本時の指導目標

フェアトレードについて意欲的に課題を見いだして追究している（社会的事象への関心・意欲・態度）
2種類のチャートを使い、貧困問題を解消するための自分の考えをまとめる（社会的な思考・判断・表現）
ほぼ日のアースボールを使って、コーヒー豆の生産地・消費地の特徴をつかむ（観察・資料活用 of 技能）
デキタスを使って復習することで、3年間の知識を定着できている（社会的事象についての知識・理解）

8. 教材

教科書『新しい社会 公民』（東京書籍）

デキタス（株式会社城南進学研究所）

ほぼ日のアースボール・対応アプリ（株式会社ほぼ日）

9. 学習の流れ

段階	時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点
導入	5分	今日のテーマを確認する <ul style="list-style-type: none"> ・公民の教科書 P.198「貧困問題」を開く ・“人口の急増と貧困を音読する ・ハンガーマップの読み取り ・“世界の貧困問題(4行目まで)”を音読する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンガーマップから栄養不足の人がアフリカに多いことを読み取らせる ・貧困問題が深刻化しているのもアフリカであることを確認させる
展開 ①	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・中1地理のアフリカ州を復習 デキタスのアフリカ州：基本問題を解く →10問出来たら間違った問題の解説を読む →キミ問コレクションでやり直す →チャレンジ問題にまで進むのが目標	デキタスにログインさせ、範囲を提示する 復習チェックシートを記入させ、進度を把握する 5分経った段階で、進度別に指示をする <ul style="list-style-type: none"> ・進度の遅い生徒 →○×チェックからやり直させる ・進度の早い生徒 →キミ問・ピックアップチャレンジで復習させる ランダムモードまで進めてもよい
展開 ②	10分	コーヒーの生産と消費にまつわる問題を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカのコーヒー産地 ・ほかの産地と共通する特徴 ・モノカルチャー経済の背景 	ほぼ日のアースボールアプリの起動確認をさせる <ul style="list-style-type: none"> ・4人班を作り、ワークシートを配る ・「でこぼこコーヒー」を使って、コーヒーの産地の代表的な国名（特にアフリカ）を調べ、「コーヒーベルト」の特徴をまとめさせる ・消費地の特徴をワークシートにまとめさせ、生産地と消費地の格差を視覚的にとらえさせる ・デキタスでも出題された「モノカルチャー経済」の歴史的背景について、生徒たちに質問する
展開 ③	15分	貧困の原因を考える <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートの「くらげチャート」にまとめる →教科書から探す 貧困解決のための一案・フェアトレードを学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレード（公正貿易）とは何か ・具体的な企業の取り組み例 →フェアトレードが広まることで、何が変わるかを考え、「キャンディチャート」にまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースとなる「くらげチャート（貧困をなくすためにできることは?）」のデータを配布する ・黄色のカードに教科書の言葉をそのまま使って貧困の原因を書き出させる →わかりやすく端的にまとめたり、自分でも別の要因を考えて書いたりすると加点すると伝える ・できた人から、緑のカードの課題もするように指示する ・生徒たちにとって身近なスターバックスコーヒー・ジャパンの取り組みを紹介する →フェアトレードを含めた方法で、エシカルなコーヒー豆の調達にほぼ100%成功したことを伝える ・「キャンディチャート」のデータを配布し、自分の選んだピンクのカードを中央に配置させ、そう考えた理由を右側の黄色のカードに記入させる →例) 食料の不足：適正な給料がもらえれば、食料を買えるから。 教育の機会：学校に通うお金ができるから。 子供が働かなくてもすむから。 →早くできた生徒には、フェアトレードの問題点があるとすれば何か、考えさせる 例) フェアトレード商品は高価に感じる、など ・身近なことで自分にできることを1つ考えさせる →時事研究の授業の一環で、先日行われた Table For Two のおにぎりアクションも一例として示す
まとめ	5分	中3公民の貿易に関する範囲を復習 デキタス：市場経済と金融 為替と貿易(1)(2) →○×チェックをする →満点取れなかった者は授業動画を家で見てくる	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野と公民的分野で重複している内容に取り組んできたので、最後は公民的分野からの視点に落とし込ませる ・平常授業の進度に合わせて復習させる ・○×チェックで満点を取れるようになった生徒には基本問題に取り組むよう指示する